

ITEC経済実験キックオフセミナー：未来を拓く実験社会科学

日時：2017年8月2日（水）15:00～17:30

場所：同志社大学 今出川校地 寒梅館2階 KMB211

<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/muromachi.html>

グローバルな政治不安や、経済の不安定性などを背景に、大きな「不安感」が漂うこの世の中で、我々はこれからの社会をどのように設計していけばよいのでしょうか。

このセミナーでは、このような問いかけに対して、近年注目を集めている「経済実験」を用いて導きだされた最先端の研究成果を、わかりやすく解説いたします。

経済実験とは、現実にはまだない「未来社会」を仮想的に作り上げることで、「ヒトとヒト」や「ヒトと仕組み」の相互作用を分析しうる未来志向性を有する手法です。

第1部では、その概要とITECの新たな取り組みをご紹介します。最先端の研究報告をおこないます。第2部では、経済実験をおこなうオムロンルームの見学および体験会をおこないます。

プログラム：

ご挨拶 三好 博昭（同志社大学 政策学部 教授、ITECセンター長）

第1部（15:10 -16:50）

1. 実験が切り拓く未来社会

田口 聡志（同志社大学 商学部 教授、ITECディレクター）

2. How does proxy vote on behalf of future generation affect the voting behavior of present generation? A laboratory experiment

上條 良夫（高知工科大学 教授、ITEC共同研究員）

3. 戦争の社会心理学：実験研究から見えてくる心と行動

三船 恒裕（高知工科大学 准教授、ITEC共同研究員）

第2部（17:00 -17:30）

オムロンルーム（経済実験レイアウト）見学会&経済実験体験会

【対象】

- 経済実験を行ったことはないが、どのような方法論で、どのようなことができるのか興味のある研究者・大学院生・学部生の方
- 人間の心理と経済制度との関係性について興味関心のある方
- これから先の未来社会をどのように考えていったらよいのかに関心のある方

参加費無料

参加申込は <https://goo.gl/forms/i7Jb22uB6ngBo6cV2> よりお願いします

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

TEL：075-251-3779 E-mail：itec@doshisha-u.jpURL：<http://www.itec.doshisha-u.jp/>**ITEC**Institute for Technology,
Enterprise and Competitiveness



【講師】



田口 聡志

田口 聡志：
同志社大学大学院商学研究科教授。博士（商学、慶應義塾大学）、公認会計士。慶應義塾大学商学部助手（有期）などを経て現職。専門は実験社会科学。主要業績として、『実験制度会計論-未来の会計をデザインする』中央経済社、2015年（第58回日経・経済図書文化賞受賞）など。2017年よりITECディレクター。



上條 良夫

上條 良夫：
高知工科大学経済・マネジメント学群教授。日本学術会議第23期連携会員。博士（経済学、早稲田大学）。早稲田大学高等研究所助教などを経て現職。専門はゲーム理論、実験経済学。主要業績として、Theoretical and experimental investigation of performance of keyword auction mechanisms. RAND Journal of Economics 44(3), 2013（共著）など。2017年よりITEC共同研究員。



三船 恒裕

三船 恒裕：
高知工科大学経済・マネジメント学群准教授。北海道大学にて博士号取得後、日本学術振興会特別研究員（PD）などを経て現職。専門は社会心理学で、集団における協力や利他性に関する研究を進めている。主要業績として、Intergroup biases in fear-induced aggression. Frontiers in Psychology 8, 2017（共著）など。2017年よりITEC共同研究員。

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター(ITEC)では、新しい技術に対応した社会の仕組みを展望することを目的に、いくつかの論題を設定し、それぞれの論題を様々な視点から議論していくITECセミナーを、シリーズ形式で開催しております。